



菅原 達 議員(公明党議員会)

流域治水の推進について



越水による洪水被害を未然に防止するための森林の保水機能の保全や調整池等の設置、田んぼダムを活用、さらに土地利用の規制や移転の促進、避難体制の強化など、関わる行政の窓口が多岐にわたる中で流域治水を推進するためには、庁内を横断した組織づくりを始め、河川管理者との連携強化、治水の専門家や流域の住民などの意見を聞く場を設けることを目的とした、(仮称)流域治水協議会を河川ごとに設置すべきと考えるがいかがか。



都市建設部長

流域全体で持続可能な治水対策を講

ずることは重要であると考えており、今後流域の関係者が協働し、主体的な治水対策を総力戦で取り組む社会が構築できるように、国や県と連携を図りながら流域治水について研究したいと考えています。



金子 保利 議員

特別定額給付金について



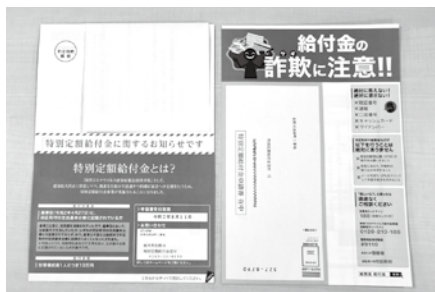
民間調査会社の報告では、特別定額給付金の30%程度が消費され、60%以上が預貯金に回されているとのことである。貯蓄を消費に導く施策を積極的に講じていただきたいと思うが、案があれば伺いたい。



産業文化部長

市民の消費を促す取り組みとしては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を特に大きく受けている飲食業の支援を兼ねたプレミアム付食事券を発行し、既に7月末から登録店舗での使用を開始しています。

さらに、今後は飲食業に限定することなく、売上げ減少に悩む市内の小売業等の支援と、消費者としての市民の家計を支援するため、プレミアム付きの商品券を発行し、市内での幅広い消費活動を喚起させることで、地域経済の維持、回復を図りたいと考えています。



▲ 5月に発送された特別定額給付金の申請書



小倉 健一 議員

出流原PA周辺総合物流開発構想について



出流原PA周辺総合物流開発整備に関する基本構想書で、Fゾーンは防災ゾーンとして想定されている。ゾーン区分に限らず本市が懸案すべき土地利用と思うが、Bゾーン以降の構想についてどのように考えるか。

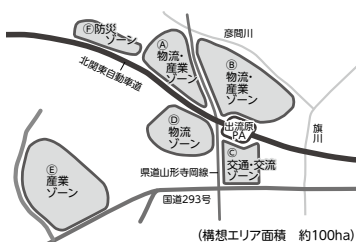


市長

本市では、昨年の教訓なども踏まえ、佐野市国土強靱化地域計画を策定しました。計画では、出流原パーキングエリア周辺における総合物流拠点整備を活用し、県や周辺自治体、また民間事業者との連携強化により、国及び県全体の強靱化を図ることについても言及しています。防災への対応については、市民の安全安心な生活を確保する上で大変重要な事項ですので、今後市の防災拠点としての整備を、Fゾーンも含め市全体で検討したいと考えています。

その他の質問

- ☆第2次佐野市保育所整備運営計画について
- ☆新型コロナウイルス対策下における児童生徒の熱中症対策について



▲ 構想エリア図及びゾーニング図